

養實界見  
詳解

73  
6222





73  
6882

服忘令法定書及相分益也

早世心蔵

去五味均平蔵

少く若きなり之期ふあひひ少合向多山早貴  
兼く今んを等閑な来弱小流且平親族和睦  
跡く相成山基之積成山を惟忘之候中大切事  
中ふ所同合重て之勿海事山山も危角養  
実之舟ハ階子取惟忘法方成山以遠病  
之の多くくつて甚美之義理と悉く歌多技  
記の外詳解といふ書も有之無有冊といふ法方  
後考附詳なり世信早解此のめ

如新



書美續志

大統政明選

一 養父方

二 養母方

三 實方

四 實父之實方

五 實母之實方

手足之順養子成者

六 養方  
實方

叙父相之相續成者

七 養父方



實父方

八 養子

一 養父方



一 高祖母

忌十日

服二十日

一 高祖母妾所出之腹忌也。

一 高祖母之方之玄孫忌三日服七日也。

一 曾祖母

忌十日

服二十日

一 曾祖母妾所出之腹忌也。

一 曾祖母離別所出之腹忌也。







一 養父母 忌守 服二十月宜月と前二日

一 生母妾の忌に服忌ナリ

一 生父母の方の嫡子忌二十日服二十日忌

一 生母年若く再嫁し為里方居居る未再嫁之

内て生母再嫁方親類とも定式に服忌再嫁之祖

類に忌ナリ 但再嫁後之父一も忌に上り生母

縁切に服忌ナリ

一 生母、生祖父、娘のて養父舞生子の以ハ右

生母年若く再嫁し為里方居居る未再嫁之

内て生母再嫁方親類とも定式に服忌再嫁之祖

類に忌ナリ 但再嫁後之父一も忌に上り生母

縁切に服忌ナリ

一 右生母又ハ離縁し成居る居りとも一度は嫁

上り生母に縁切に服忌ナリ 生祖父又ハ娘の

叔母定式に服忌ナリ

一 生父病身対生母と婚後ハ未嘗此以ハ生母

之ハ生祖父又ハ娘の以ハ叔母定式に服忌ナリ



一 子身其子、少成以有、其父縁組預、其母方、  
引九並、其婚妻、及預、其原、其後、其父也、  
其原、其其父相果、其子、其其子、其其子、其其子、  
又、其妻、其縁、其女、其相果、其其母、其其母、其其母、  
其其母、其其母、

一 其母と其父離別後、其母、其母、  
其父之妻、其子、其其子、其其子、其其子、其其子、  
其、其母、其其母、其其母、其其母、其其母、  
其母方、其其母、其其母、其其母、其其母、

一 其父、其妻、其其妻、其其子、其其子、其其子、  
其父、其妻、其其子、其其子、其其子、其其子、  
其、其其妻、其其子、其其子、其其子、其其子、

一 其母、其其妻、其其妻、其其子、其其子、其其子、  
其母、其其子、其其子、其其子、其其子、其其子、  
其、其其子、其其子、其其子、其其子、其其子、

一 其母、其其子、其其子、其其子、其其子、其其子、  
其、其其子、其其子、其其子、其其子、其其子、



定或は悔忘ては是、離別致す。其母方親類  
悔忘ては是、事なり。

一 其母出奔致す。其母并其母方親類定或は  
悔忘ては其父再嫁。其組預度中意相伺はと離  
定は事存あり。其母は離れしは悔忘なり。

一 右其母其父再嫁組中意伺あり。其母  
方押込有るは、其母は切也。事なり。其母  
縁も切也。事なり。悔忘ては。

一 右其母其父再嫁組中意伺あり。其母  
相立の義其祖父は娘方叔母定或は悔忘ては。

一 其母其父再嫁組中意伺あり。其母  
悔忘其母は其方親類は父も其子も其子も  
時其父は其方悔忘ては。其母は其方悔忘  
ては。但續書は言載はる。

一 其父出奔は其方遠海改易追放あり。其母  
其母は其方在りては其子も其子も其父は其子  
相立の中其母も有るは其方絶へ時ても忘る日  
悔十二月は悔忘ては但續書は其方其子



これ等の美方の相成り又他家の若子お成り  
事もお成り此の如く胎忘の意味書く事  
是れ等者より出資し怪言の事と付て  
者對し此の事より治定し難く控扱し  
一 若父も若子も身も若子も時若父も美方  
胎忘し但續書お書載しも及ん

一 伯叔父姑

忘二十日

服九十日

一 伯叔父他家相續し若子相成り此の事載し胎忘し

若子相續より大伯叔父又中後身後身遠あり續り  
制ししは伯叔父も載し胎忘し  
一 伯叔母も他家女相成人聲とあり又若女より  
他家嫁り由りあり此の事載し胎忘し是れ又  
若女相續より若女相成りも中後伯叔母も載し  
胎忘し若女相成り此の事載し胎忘し  
一 伯叔父姑方相續し或他家お續し若子若女あり  
お成りしは相續し胎忘し







一 甥姪

忘二日

服七日

一 他家相續し其子お誠の以て服忘たり

其女お誠前より余に屬し其女は服忘たり

女相續し其子にて一定或は服忘る其子より

續し其女より服忘る其子より

一 兄弟姉妹他家相續し其子其女お誠出たり

甥姪の以て兄弟姉妹の子に相續し其子

お誠も其子別服忘る

一 後身

忘二日

服七日

一 他家相續し其子相續し其子服忘たり

其女お誠前より余に屬し其女は服忘たり

其女お誠の以て一定或は服忘る其子より

續し其女より服忘る其子より

其

一 伯叔父姑他家相續し其子其女お誠出たり

後身後身女は以て伯叔父姑の子に相續し其子



甚きお誠ともに別腹忘し

二 養母方

一 祖父母

忌二十日

腹九十日

- 一 祖母妾の所に居る者は甚母の妻の母とも腹忘す
- 一 祖母の別腹の者は甚母の妻の母とも腹忘す
- 一 祖母の方に嫁る者は孫忘す日腹七日と文す

一 甚母妾の母は甚母の妻の母とも腹忘す

一 伯叔父姑

忌十日

腹二十日

- 一 伯叔父他家相續する者は甚きお誠の所に居る者は甚母の妻の母とも腹忘す
- 一 甚きお誠の所に居る者は甚母の妻の母とも腹忘す
- 一 甚きお誠の所に居る者は甚母の妻の母とも腹忘す

一 伯叔父姑の方に嫁る者は孫忘す日腹七日と文す



喪女者、お誠、以、つ、婦、也、  
服、忘、也、

一 婦也

忌三日

服七日

一 他家相續、喪子相誠、以、中、服、忘、也、  
一 喪女者、

喪女者、お誠、前、之、糸、  
一 服、忘、也、  
一 喪女者、お誠、斗、之、  
一 忌、或、  
一 服、忘、也、

一 伯叔父、姑、化、家、お誠、  
一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

三 實方

一 祖父母

半減忌十六日

服七十日

實母方

忌十日

服十日

一 祖母、  
一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 祖父母、  
一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、

一 喪子、喪女者、お誠、出、也、



一 實父母

忘六日

服十三日 宜月と三日

一 父子之間別居之事并定或服忘なり

一 實父母方も末子定或服忘なり

一 己身娶服より母継母共忌成とも

實方も母母忘なり

一 實母方も他方より別定或右實父

服忌出又他嫁より方后も何服

意味有るも別定或服忘なり

一 實母継縁お成とも 己後他嫁おとも 又何服

意味お成とも定或右實母方親親生減

服忘初事なり

一 伯叔父母

忘十日

服四十五日

實母方

忘六日

服十五日

一 他家相續る者子孫女お成とも 己後別定

生減服忘初事なり 己子細ハ生減生減

と申ハ生減初事なり



一伯叔父姑之甥姪之腹忌也。

一兄弟姊妹 忌十日 腹忌十日

一他家之甥姪之腹忌也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。

一 腹忌

其母之腹忌也。同類。

一 其方之腹忌也。伯叔父姑之腹忌也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。

其腹忌之日也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。

一 甥姪

一 其方之甥姪也。兄弟姊妹之腹忌也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。

一 其方之腹忌也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。其腹忌之日也。



親於腹忘之

実父甚子

實父

一 祖父母

忘十

腹七

一 祖母高之も能目之也別高之祖母お之也

一 祖母高之方上孫之腹忘也

一 伯叔父姑

忘十

腹四

一 他家相續之甚子甚女お戒也

腹忘執事也 実方伯叔父姑之是例同例也

一 伯叔父姑之方甥姪之腹忘也

一 後身

一 実父之実方後身腹忘也 実方後身之是例

同例なり



実母と女を嫁来りて

五 実母と実方

一 祖父母

忌十日

服二十日

一 祖母と母との間目と実方別実方祖母との間目

一 祖父母と方と孫と腹忌

一 伯叔父母

忌十日

服二十日

一 実父と実方と異別同例

一 後方

一 実母と実方後方腹忌十日 実方後方と異別

同例なり

一 実と実方

と異別右同例

一 母と実方



才より只し其子を成ゆとの懐念法方

養父方

六

實父方

一 高祖母 定式

一 実方より高祖母付其方より定式懐念す

一 高祖母より方より実より高孫に及ぶ其子

成身高孫に懐念す其孫定式懐念す

一 高祖母妻より方より実より高祖母より方より其実

懐念す

○ 一 高祖母 定式

一 実方より高祖母付其方より定式懐念す

一 高祖母より方より実より高孫に及ぶ其子成身高孫

懐念す其孫定式懐念す

一 高祖母妻より方より実より高祖母より方より其実方

祖母高女成身高孫に懐念す







□ 一 養父母

忌日 服十月 三月と云ふ

一 実方より、兄弟は、妻は、此は、も、養方より、  
懐念たり、養父母より、方、も、嫡子、定式、懐念、

一 右、養母、再嫁、為、里方、居、居、も、未、再、嫁、少、後、  
内、養母、并、養母、方、親、親、も、定式、懐念、

此、祖、後、此、文、此、此、養母、家、親、懐念、

一 養母、只、養母、此、此、養母、少、少、此、此、懐念、及、  
少、此、

○ 一 養方祖父母

半減 忌日 服十月

一 養方より、大、伯、叔、父、姑、續、相、成、懐念、

伯、叔、父、姑、半、減、懐念、

右、伯、叔、父、姑、他、家、相、續、養、子、養、母、お、親、

此、別、下、中、此、半、減、懐念、

△ 一 伯叔父姑

定式

一 実方より、兄弟、姉、妹、此、此、も、養方、伯、叔、父、姑、



續お成定式へ懐念して山伯叙文姑よりお成見方  
中減へ懐念して山右伯叙文姑他家相續へお成見方  
如お成見方へ中減へ懐念して山

□ 一 方妹

定式

一 実方より甥姪よりお成見方へお成見方へお成見方  
方妹相互定式へ懐念して山右方妹他家相續へお成見方  
お成見方へ懐念して山相續へ懐念して山  
兄へお成見方者兄方姉妹留方

一 兄へお成見方者右お成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ

△ 一 浪舟

定式

一 実方より甥姪よりお成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ  
お成見方へお成見方へお成見方へお成見方へお成見方へ



相續之喪子喪女未  
未誠出生之  
後身後身女  
此等伯叔父姑  
之節居此之  
其子相續也  
各別之  
服忌之

○  
一 甥姪

定式

一 喪方之ハ又甥姪府喪方甥姪定式ハ服忌之ハ甥  
姪方之ハ伯父定式ハ服忌之ハ右甥姪他家相續ハ喪子  
喪女未未誠ハハ服忌之ハ子妹他家未續ハ喪子喪女未  
未誠出生ハ甥姪此ハ子妹ハ未未居此ハ喪子喪女未

之各別服忌之ハ在之ハ甥姪ハ方之ハ伯父未誠ハ

服忌之ハ

○  
一 美後身

一 喪方之ハ後身遠ハ續ハ未誠服忌之ハ喪方之ハ  
後身是又服忌之ハ







一 曾祖母の忌も実母の忌に準じ十一月に脂忌  
勅事下。

一 祖母 定式

一 実方の子は兄弟を妻の忌に準じ実方にて定式し脂忌  
なり祖父の方にも実中子に準じ祖母の方にも  
姑孫定式し脂忌にてい

一 祖母兄の妻の忌に祖母の脂忌に準じ

一 養父母

忌中日 脂十月 官月とす

一 実方の子は甥を甥の妻の忌にも実方にて定式し  
脂忌なり養父母の方にも実中叔父の忌に準じ  
或は脂忌にてい

一 養母甥の妻の忌に養母の子に準じ脂忌に準じ

一 養母年若く再嫁し為里方上届に依り有る  
養母再嫁と名別同例







● 表女子  
一 姊妹

定式

一 実方女子と又甥姪の相續は実甥相續は表女子相成り  
表方姊妹相互定式は腹忌之右方姊妹他家相續  
表女子表女亦相成り以相成り半減は腹忌之

□ 実方伯叔又作子  
一 実方

一 実方流子と腹忌之と表女子と相續り各目之

○ 表方伯叔又作子  
一 流子

定式

一 実方女子と又甥姪并腹忌之と表方流子定式  
腹忌之右方他家相續は表女子表女亦相成り  
半腹忌之伯叔又姑他家相續は表女子表女亦  
相成り半減は流子表女以相成り伯叔又姑は半減  
居りも表女子相成り半減は腹忌之

△ 実方伯叔又作子  
一 實方

一 表方女子と流子と相續り半減は表女子相成り

● 表方姊妹  
一 甥姪

定式







日殺有内預お原しるも及なき也

一 解其子預お原未婚嫁しお其意内死す時其子相承

定或忘日殺幸いある也

一 好意有其子其願と其果し其意其智と定す所

其子其忘て也

一 其子欲嫁預お其意 其子内其子其忘て也

一 其子其子其智と定し其子其忘て也右其子

病身有退身致し其子其配南お其子其智と

定其子其忘て也一旦其子其成し其子其智と

本家お其續にお其子其子其智と定

其忘て也

一 其子其意致し其子其子其智と定

其子其子其忘て也其子其子其智と定

其子其子其忘て也其子其子其智と定

其子其子其忘て也其子其子其智と定

其子其子其忘て也

一 其子其子其忘て也其子其子其智と定

其子其子其忘て也其子其子其智と定











詳解後古遠少若然其古例同合内と  
悉く終らして撰類の男一書のよく至り  
今もその世書と角ひその例書は引尚書作  
事たりしを右考し前書は近年も淺く  
志於その例書と能く再考して増補書也  
並に一一と書記並れし物も其例書も其  
引尚書書の淺く其を増補してその事  
よりして後年不掛り奉仕の時後世を勿論



近世中にて悉穿鑿いし——朱書——處々并  
系門の並ぶる教を不淺くしむるを書載の……

大藏政明  
増補撰

服忌令

一父母

忌十日

服十二ヶ月国月とがさし

一父母を実父母といふ

一婦子未子女子の方に差別あり——定式に服忌なり

一父人の養子と成或は本家と相續——或は曾祖父と養子

と成時ハ曾祖父なれども祖父に續よるは又そ

ろは祖父の養子と成時ハ父と兄弟の名後にも成ひ

を介何れも入組しは養子又は相續といふも

実父母とあつてハ差別なく定式に服忌を受くなり







服名別云々

一 沙汰して死罪を介由仕置は 俗身ゆきの病死する者  
同根法親類忌服之差別

一 法親類の内被出奔ゆきの忌服差別云々を慈願養子  
養母妻出奔を差別有るゆ府吏との處に記す

一 親類の内非人に相成ゆきの病死忌服之同合文政  
七申年三月十六日有る右を是追例哉云々ゆ非人  
を養母と親類とを離しゆきの忌服忌有る可論筋云々  
云々を服忌度法後を勿論事ゆ言有る

一 下村より進く豆牙云々云々初親類の内下村者  
有る親類書に書載無ゆ復る者とも血縁にお  
ゐて、服忌禁断之差別云々云々

一 分地配當に依る元来武家又隠里ゆ事ゆは百姓  
町人同合享和子年正月九日有るゆ如百姓町人云々  
元来之縁云々のゆは武家家屋敷田畑配分  
と文章子におおりの武家分地配當確一書父母  
服忌実法之可然言有る云々

一 豊年正月二月大小おを兼たとハ服三月進も日教茶



年よりお攝山院を正月二月九日の月々積りおんじり月  
小出の日教裁目とてお成り候但書書加お居り方  
可成存心

一 五人教束と打果れ候又と及母傷れ候と身ハ  
引水次方之事心

一 養父母

忌二十日

服百六十日

遺跡相續分地配當の長子ハ実父母とて同性とも  
異姓とも長方親親実とて同性とも相互に服忌て文  
実方親親父母ハ定式に服忌の文に祖父母伯叔父母ハ

半減に服忌て受て長子姉妹ハ相互に半減に服忌可  
受て世印に親親に服忌とて遺跡相續七分或分地  
配當せし長子ハ同性とも異姓とも長父母ハ定式に  
服忌て文に長方ハ兄弟姉妹ハ相互に半減に服忌可  
受て世印に親親に服忌とて実方親親ハ定式に相互に  
服忌て文に

一 遺跡相續或分地配當の長子ハ実父母とて如くとは  
忌六十日服十二月とて文に

一 同性とも異姓とも長方親親実とて如く相互に服忌



下流...は同姓の内、長子となり又、他家に長子と  
成とも家督相續多配属の長子、長方の流振  
の續何事も定式に通相互、実子の續、應忌服て文  
なり

一分地配属といふ事、父知り内と分知して、男三  
男土、長事と、由為、未だ限り配属と申事、  
云々

一、長方根親と実方、應定式、忌服、父の長、実方根親、  
実父母、定式、服忌とて、流祖父母伯叔父母、忌服忌

可文、祖父母、父方、忌十日、服七十日、母方、祖父母、忌十日、  
服、早合、離別せ、ま祖母、実祖母、小あて、服忌、差別  
なり、て、父方、父方の伯叔父母、忌十日、服、早合、父方、  
母方、伯叔父母、忌、六日、服、十日、なり、父母、種、父方、  
姉妹、忌、忌、減、なり、父方、忌、十日、服、早合、母方、忌、  
服、十日、なり、兄弟、姉妹、相互、忌、十日、服、早合、之、別、服  
なり、と、父方、も、差別、なり、実父、兄弟、忌、六日、服、十日、之、  
甥姪、孫、忌、服、なり、甥姪、孫、方、祖父母、伯叔父母、  
の、忌、服、忌、減、之、流、相互、忌、服、云々







通交のなり実父母を定式に忘服文実方親類祖父母  
伯叔父母半減兄弟姉妹相互半減に服して更に世帯  
親類に服忘なく右に女は出生の子供も母に養方親類  
相承不定式に服忘と文実方祖父母伯叔父母半減に服忘  
清く後身を服忘なく祖父母伯叔父母に方は孫甥姪に  
服忘なく

一 養女も人よ養ひて居入聲もふれ化にふ嫁身もふ  
めしふ身出一通に養女に化に養父母に二十日百半日養  
方兄弟姉妹相互半減に服忘と化に且養父母に方はふ

十日二十日之服忘と化

一 養父に実母妻よ化に養子のよの忘服なく

一 養母に養方親類忘服有るに養母に実方親類も服忘  
なく元文元年追加の条目見合

一 病身舟婚子退身被し次男婚子と成家督相續被し  
その後右兄に男子と叙父家督相續に養子に被し化に百  
叙父夫婦に養父母におぬ男子に方は平日十二月に忘服なく  
一 兄に養子小成化にの親類忘服文に後身化家より  
養子よ養ひて化にの養家高き祖父母と始親類の忘服



父の如く同事の如

一 母の養方実方とも小相互に養子小成の者忌服の後  
養子の系の前迄忌別を云後

一 養父の母方祖父母と養子との養家母方為祖  
母亦但一日を忌むる也

一 一拜母方為祖母一日遠慮する也  
養祖母方為祖母一日を忌む

一 父家替相續多配當せし養子小成養方兄弟姉妹  
相承せ減忌服する也子兄弟姉妹伯叔父

姑の如く父を減忌服する也

一 多配當せし養子実方養母姑母繼母忌服文  
中の相續養子右忌服する也元文元辰奉追加

条目見合

一 養子たその養母再嫁して初嫁の子有るは其父  
兄弟小准忌服する也

一 養母再嫁して其方口門を重く未だ其嫁内養母  
定式忌服する也但再嫁を組納す時養母

忌服する也



一 右 喪母離別 叔成里方 廣一 度他に嫁して養母  
縁離るに付 服忌の地持より及ぶ

一 喪母出奔 波の地 喪母に縁離る 喪母に 報親 服忌  
云々 名先年より 報言の如文化の辰年 日月妻出奔 辰年  
離縁と定方 波大目付 内付 評候より 伺得る 廣と心  
お考ゆ 波の地と 喪母出奔の 報親 喪父離縁の 廣  
お定内 喪母に 報親 定式 服忌文 喪父再縁  
元組度 内 報親 報親と 離縁と 定事 内 波の地  
喪母に 縁離る事 喪母に 報親 報親と 服忌より 及

波持より 伺得る事 報親 喪父死後 出奔 波の地 前文  
朱書 色より 有り

一 養父出奔 波 家以 離縁 族身 波の地 取上 喪子 元  
主人の 方 波 廣 実方 苗字 報親 名 宗 出 波の地  
右 喪父の 妻 喪子 報親 喪母 報親 報親 報親 喪子  
波 喪母 方 報親 報親 報親 喪子 服忌文 中 波

一 出抱 序 報親 報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波  
報親 報親 報親 報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波  
報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波  
報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波 報親 喪子 波















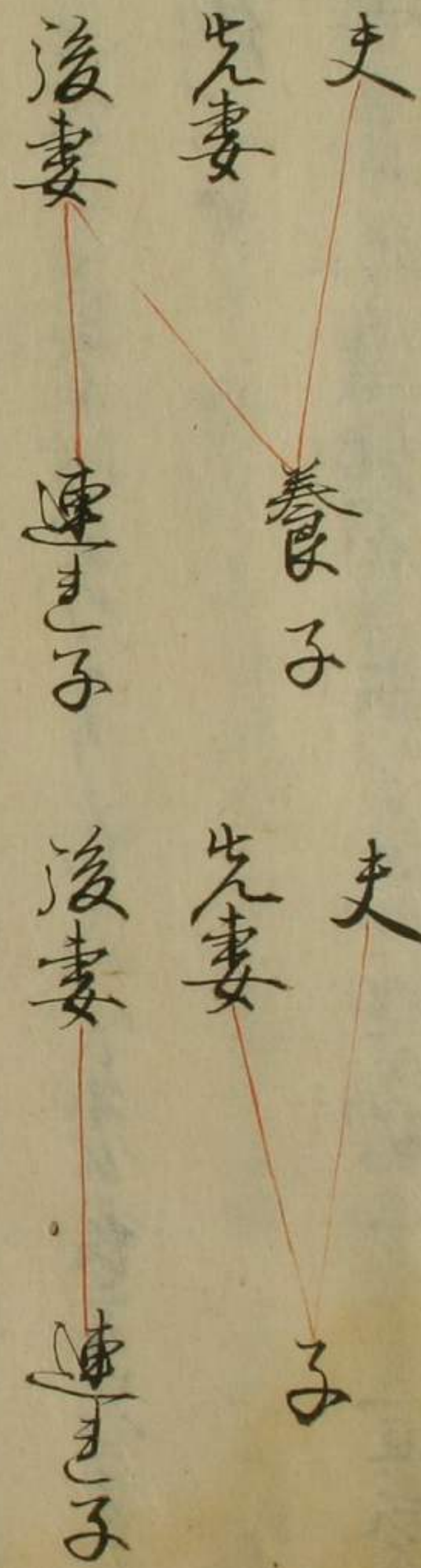




連子と養子小波の妻と又養子の母の養方兄弟姉妹

一 腹忌同例

右吳父兄弟姉妹并養方兄弟成山系左の通



連子有る亦ハ養子小波  
 比并後妻と養母お波  
 連子ハ吳父兄弟

先妻の子と後妻と連子とハ  
 養方各因之連子と又養方  
 波り切ハ養方兄弟お互ハ成  
 一 腹忌同例

一 たとハ伯叔母代ハ嫁一 実子とハ先腹の子お智とハ伯叔  
 母右伯叔母智の子小波ハ先腹の子お智伯叔母とハ  
 継母とハ成山系左の通ハ継母方の扱ハ  
 お波ハ腹忌同例

一 実娘養娘ハ智養子ハ一 男女子出生有るハ右智養子  
 病死波比并右男子と姉妹兼祖とハお預助とハ右姉妹兼  
 子とハ祖とハお預助とハ比并再智養子波り切ハ先智養子  
 子とハ再智養子とハ継父継子とハ再智養子小波又ハ出生とハ子  
 有るハ先智養子とハ子とハ再智養子とハ子とハ吳父兄弟



相互に定式し腹忘す

一 愚願と姦と向ひ出生し子有るは愚願病死致し右  
姦と長女と波し右長女は聲長子波し其れ物出生し子  
聲長子と継父子とを以て又方叙父定式し腹忘す叙父  
は方は甥姪定式し腹忘す

一 聲長子波し出生有るは右聲長子継縁を成又右聲  
長子波し右再聲長子と先長子と子と、續し各自  
之れ腹忘すは海法也勿論しゆ一許先聲長子継縁  
波し右出生し子依て又に附実方にて是とのは双  
方

讀合言長家長重は候、右對治事、事符しつ是は右の九  
再聲長子、為續し右目云々

一 先妻出生し子男女子有るは先妻死去波し右再聲長子  
姦と後妻と要は候、先妻出生し子と後妻と、母方叙母  
甥姪、續し右後妻におかし上は甥姪、方は継母  
定式し腹忘すは継母、方は先長子と腹忘すは甥姪  
定式し腹忘すは右継母と長母定式し長母定式し  
腹忘すは右出生し男女子他家に續し長子長女  
亦お誠は実方長母も腹忘すは附実續し是也



実母方叔母は職に服忌しては叔母の方にて贈婚

服忌

一 離別之母 忌半日

服十五日宜月と云ふ

一 実母父離別は母も忌服を定式に通忌半日服十五日  
之よりなり

一 妻服の子父に妻服出外は嫁は於実母を離別の  
母に准定式に忌服同様に云ふ

一 離別祖母も実祖母は於定式に忌服を離別  
実母の方より忌服を願ふも末子定式に服忌しては

離別之母に報親相互定式に服忌をたてて  
之れとも血脈を以ては定式に通あり

一 離別実母は嫁に生る子有れば離別たるは  
その子との実父身定式に服忌しては

一 家督相續の長子たるの長子以後は長母離別しては  
小あつても服忌しては

一 長父死後長祖父長母を義絶しては母も長子  
長母は嫁に離別は定式に服忌しては代に嫁はる小あつても  
服忌しては



一 夫

忘二十日

版十二月廿月と云ふ

一 聾者子に成未婚媾ふお教は内々忘腹を忘る日教二十

日迄を忘るる一 腹の日教を及ぶ迄又預先上は信信

之の内を忘る日教を及ぶ迄先夫後夫と名別

之元禄六年追加六条見合

一 聾養子預通正信渡相済ゆは夫婦相互定或忘日教

を及ぶ迄事届結納済ゆは夫婦相互定或忘日教

之

一 七采未届小児忘日教を及ぶ

但一日迄を忘る

一 妻

忘二十日

版九十日

一 初妻後妻の腹忘差別あり縁組預お済祐とのれ交

相済ゆは二十日の迄を忘る縁組預お済祐とのれ交

を及ぶ迄元禄六年追加六条目見合

一 妻の父母聾のお小児腹を及ぶゆは

一 聾夫の妻お果は長腹忘る

妻お果は後行離縁と定方成文化文原年日月大目付内目付  
をり得成ると何様なる通り



一妻出奔被り存再嫁元組預書是上度言申内意何若何通  
預て是言申申是國と離縁とお定并組支配の西も亦文  
同預改支配通再嫁内意何被り是又預て是出言申中  
後有るは右同預お申申申預除ふ除ふ拍離縁之元  
扱ふ先妻立戻是腹忌之及申結事

一妻出奔被り右申内意何若出申希右妻立戻申内意戻り  
候申上申是申申申押込申右妻死去申時ハ離縁之申申申  
相互之定式ハ腹忌之申

一嫡子

忌二十日

腹九十日

家督と定まらぬ時ハ末子ハ腹忌可受り女子ハ元初小生  
まてと末子小准也

一初男より末子に及ぶ女子ハ惣願生家ハ是惣願生女子  
被りお纏申申申申申申申十日腹三十日之申人ハ末子小  
也申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申  
智相續被り申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申

一末子被り申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申  
相除末子被り申申申申申申申申申申申申申申申申申申申  
末子ハ被り申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申







一 妾腹の男子有るは其後妻小男子出生るは妾腹の子  
次男亦仕腹お存重妻の男子出生るは妾内にも嫡子歟  
妾内は次男の腹忘るべし

二 父子の相鞠ゆとの父より子の方を知る自らの智  
二男の内父の家督を相續父の方の長子小せりは兄  
才の續ゆゆたに終末子の腹忘るべし但し人下お極  
續有るは重き言の腹忘るべし言追加十ヶ条目有る  
ゆゆも父子の言の別腹の事并実父を忘る十日服  
十二月実父の方の上末子定成る腹忘るべし

一 夫死去男子の家督お續無るは右後家印の嫁し又  
男子出生る時先夫の子嫡子とするは高夫の子嫡子  
原るは依は其家くは嫡子父の定成りたるは女  
夫よきりたるは父嫡子の定る時其母は為るも  
嫡子たるは父嫡子の定る時其母は為るも其子たるは

一 養子 忌十日 服二十日

家督と定る時嫡子の腹忘るべし  
一 養子預りたるは 併内養子死去時は其養父母の方  
忌服するはたは其養子たるは併内は其養子たるは



行舟之内若子死之時父母一方は忘服之々又若子  
一方は忘服之 行舟之内実方親死に致し給  
定式は忘服とて交わり若方親死に致し給  
服忘之々若子死 行舟日より実方親死に滅  
服忘となすゆへ日数減り給ふ事減し給ふ事交  
なり若方親死に忘服之 行舟日より定式は忘服  
減る日数と交わり給ふ事二十日の日数九日減り  
給ふ減る十日と交わり給ふ事

一 聾若子預末之 行舟内可嫁合若家之娘死に忘服

日数有之内預末減りも及ばざる意



一 養父家決まり由縁中穿合なり被一又々是階杯

若 行舟の若々若子実方上り死しても一旦若子死

行舟の右目方実方親死に滅し服忘之右若子減りとの  
之後又印口養子に組出給ふ事若父母服忘之々

一 存考有々若子悲願と打果若若若若と定す若子

は服忘て交わり

一 若子離縁預末之 行舟内若子死去の時ハ若子

服忘て交わり



一 実家と殘並に妻後の子より父の長方親類定或  
 腹忌と受実方親類定或の腹忌受るあり

一 ある長子の家督と定或の嫡子の腹忌受るは地配  
 の長子并家督相續せしむ長子或は地配為せしむ  
 長子も末子も色忌十日腹忌十日といふ且長女入贅と  
 九日又他は嫁は元湯年迄は元湯或は長子の納言  
 少ても忌十日腹忌十日なり

一 贅長子の嫁後未相續す而も贅長子死すといふは  
 仰射も源山とて長方親類相互に定或の腹忌受る

可嫁娘の嫁後元湯山といふは定或の忌の自敷をいふ  
 といふ元禄六年追加の条目見合

- 一 嫡子の嫁の腹忌受るは中姓の方定或の通也腹忌受る
- 一 長子の嫁の腹忌受るも再長子の嫁内は誰嫁といふは家督  
 相續す或は長子の腹忌受るも再長子の嫁といふは誰別有  
 腹忌受るは先出の長子と再長子と同日の嫁存見方  
 の名目受る腹忌受るは沙汰也
- 一 他家に嫁る長子の再嫁者出奔退立定或の射法  
 仕立の家督相除親類は孰も重長家と名字名案



后の例天明七年六月廿一日有<sup>ル</sup>右<sup>ノ</sup>遺跡相續  
分地配當<sup>セ</sup>之<sup>ル</sup>養子<sup>ノ</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>長<sup>方</sup>兄弟姉妹<sup>ノ</sup>お互<sup>ニ</sup>  
半減<sup>ノ</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>世<sup>ノ</sup>外<sup>ノ</sup>長<sup>方</sup>親<sup>ノ</sup>親<sup>ノ</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>実<sup>方</sup>親<sup>ノ</sup>  
お互<sup>ニ</sup>定<sup>式</sup>ノ<sup>ル</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>

一 聲<sup>ノ</sup>養<sup>子</sup>存<sup>在</sup>被<sup>ル</sup>ハ<sup>ハ</sup>離<sup>縁</sup>相<sup>成</sup>実<sup>方</sup>ノ<sup>レ</sup>後<sup>ニ</sup>右<sup>ノ</sup>聲<sup>ノ</sup>家<sup>ノ</sup>  
妻<sup>ノ</sup>出<sup>奔</sup>男<sup>子</sup>出<sup>生</sup>有<sup>ル</sup>右<sup>ノ</sup>父<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>忘<sup>テ</sup>腹<sup>ノ</sup>文<sup>ノ</sup>方<sup>ノ</sup>ハ<sup>ハ</sup>未<sup>子</sup>  
定<sup>式</sup>ノ<sup>ル</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>方<sup>ノ</sup>是<sup>レ</sup>父<sup>ノ</sup>定<sup>式</sup>ノ<sup>ル</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>離<sup>縁</sup>  
ノ<sup>レ</sup>父<sup>方</sup>親<sup>ノ</sup>親<sup>ノ</sup>定<sup>式</sup>ノ<sup>ル</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>文<sup>ノ</sup>

一 夫<sup>ノ</sup>父<sup>母</sup>

忌<sup>三十</sup>日

腹<sup>百</sup>日

一 夫<sup>ノ</sup>父<sup>母</sup>ノ<sup>レ</sup>ハ<sup>ハ</sup>男<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>事<sup>ノ</sup>ナ<sup>リ</sup>為<sup>テ</sup>女<sup>ノ</sup>縁<sup>ノ</sup>付<sup>ル</sup>也<sup>ト</sup>  
養<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>ハ<sup>ハ</sup>何<sup>レ</sup>ノ<sup>レ</sup>夫<sup>ノ</sup>親<sup>ノ</sup>親<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>腹<sup>ノ</sup>ナ<sup>リ</sup>一<sup>ノ</sup>夫<sup>ノ</sup>  
父<sup>母</sup>斗<sup>モ</sup>忘<sup>テ</sup>腹<sup>ノ</sup>交<sup>ル</sup>有<sup>ル</sup>里<sup>方</sup>親<sup>ノ</sup>親<sup>ノ</sup>定<sup>式</sup>ノ<sup>ル</sup>通<sup>テ</sup>忘<sup>テ</sup>腹<sup>ノ</sup>交<sup>ル</sup>  
ナ<sup>リ</sup>

一 家<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>相<sup>ノ</sup>續<sup>ク</sup>養<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>ハ<sup>ハ</sup>妻<sup>ノ</sup>夫<sup>ノ</sup>実<sup>方</sup>父<sup>母</sup>ノ<sup>レ</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>  
之<sup>レ</sup>夫<sup>ノ</sup>養<sup>父</sup>母<sup>ノ</sup>男<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>忘<sup>テ</sup>腹<sup>ノ</sup>交<sup>ル</sup>ハ<sup>ハ</sup>聲<sup>ノ</sup>養<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>也<sup>ト</sup>  
此<sup>レ</sup>ノ<sup>レ</sup>妻<sup>ノ</sup>夫<sup>ノ</sup>実<sup>方</sup>父<sup>母</sup>ノ<sup>レ</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>之<sup>レ</sup>家<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>相<sup>ノ</sup>續<sup>ク</sup>  
地<sup>ノ</sup>配<sup>當</sup>セ<sup>ル</sup>養<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>妻<sup>ノ</sup>夫<sup>ノ</sup>父<sup>母</sup>ノ<sup>レ</sup>實<sup>方</sup>腹<sup>ノ</sup>忘<sup>テ</sup>之<sup>レ</sup>  
一 先<sup>ノ</sup>妻<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>ノ<sup>レ</sup>継<sup>母</sup>ノ<sup>レ</sup>養<sup>子</sup>ノ<sup>レ</sup>也<sup>ト</sup>ノ<sup>レ</sup>妻<sup>ノ</sup>夫<sup>ノ</sup>



服忌云々

- 一 夫妾腹の子ありて父は本妻を喪ひて其長女は父の正妻に夫を喪ひて其母は母に姑定式に服忌云々
- 一 夫妾腹の子ありて母も妻も忌服云々
- 一 夫妾腹の子ありて母死す時妻前日云々此等妻の子は妻を忌服云々右妻前日有親類書ふも言載り候はば姑同前云々右妻は夫の本妻を喪ひて其母は右妻の姑に服忌云々
- 一 夫死後為再縁親元云々此等も再縁

少波内ハ死去ハ夫ハ父母定式ハ服忌云々

一 夫ハ父本家振下為お續お裁ハ夫ハ父學ハ服忌云々

一 夫妾腹ハ子ありて父ハ本妻を喪ひて其母は母に姑定式に服忌云々

一 夫妾腹ハ子ありて父ハ本妻を喪ひて其母は母に姑定式に服忌云々  
又其の後妻ハ其母に姑に服忌云々

一 祖父母

忌三十日

服百六十日



母方

忌二十日

服九十日

離別時、その祖母と服忌別後なり。

一人の養子小系との因姓、その実姓、その実方祖  
 父母を滅く服忌なり。又方祖父母忌十六日服七十五日  
 母方祖父母忌十日服四十日なり。

一 祖母高ても実祖母にあつて、忌服同例。

一 祖母離別時、その実祖母にあつて、忌服定式、毎日  
 継祖母は、忌服之、代り養子小系、以て忌服  
 祖父母は、方忌をせしむ。

一 父の嫡母継母ら、その子、その為、忌服之、嫡母は、養母  
 成山時、養祖母定式、服忌をせしむ。

一 父妾後、その子、嫡母、その養子、その成、継母、養子、其山  
 時、その子の為、祖母定式、服忌をせしむ。又、嫡母、その子、その継母  
 其養子、成山時、継母、親類、服忌を、不准、祖母、  
 服忌、其方忌。

一 養父、実母、妾、その山、其養子、その小、服忌を、其山  
 一 父の嫡母、その養母、不相、定、時、其嫡母、其忌服之、  
 一 兄、その養子、その成、其山、其継母、其継祖母、其成、服忌



及及地地

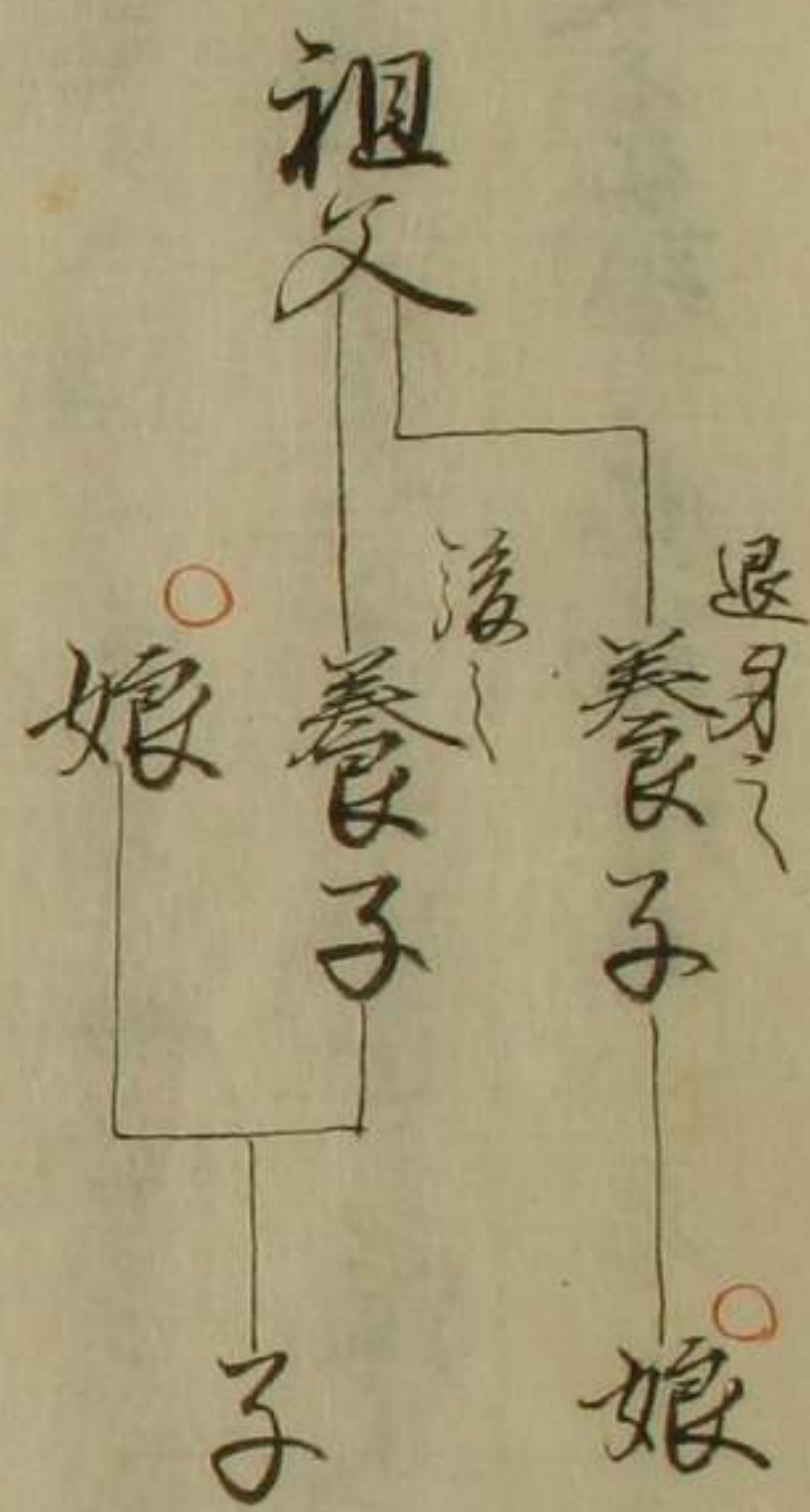
- 一 父妾腹の子は嫡母と表はひにお成表祖母定式と腹忘  
并右家女死去の言は實祖母小あつても半減の腹忘とい
- 一 妾腹の子は才本妻の表はひにお成兄家督相續の上  
才右は表祖母定式と腹忘といゆれん右祖母再嫁と為  
里方上居居は右祖母末縁并内と表祖母定式と  
腹忘といひ

一 祖父家督相續の良中家にお續とお成末家、嫡子  
家督お續致しは右嫡子の子は父方祖父  
半減の腹忘といひ祖父の方上実方孫の腹忘  
云々

一 表祖母離縁にお成しは表父母の血脈といひも表  
子の方上腹忘云々

一 祖父の表祖母の病身ありて家督相續難成并子  
者娘と後と表子嫁合て子為と退身者  
父方祖父の母方祖父たるは是は母方  
の祖父定式と腹忘といひ





一 嫡子死す身被りて其子に如妻後先嫡子に男子出生病身  
 家来の如く血の家来家智相續る養子被りて祖父系  
 尚貴子に孫甥に服忌之先嫡子に方は祖父叙文  
 半減に服忌之に家来に家智相續る之に以て実續  
 定式に之に

一 娘化の貴女に孫被りて其子に如妻後先嫡子に男子出生病身

以て之に夫病身身被りて其子に退身被りて家智相續る被りて  
 才嫡子に本家智被りて後右足に男子に叙文に家  
 智相續る養子被りて叙文夫婦に貴父母に成りて右貴子  
 成りて男子に実母に貴方其実方にも小祖父母の叙文如  
 半減に服忌之に但祖父母の叙文如一方に孫並甥に忌服  
 之に疾身に相互忌服之に

一 曾祖母

忌二十日

服九十日

母方より服忌之に但忌忌一日

一 離別し曾祖母実曾祖母ふ別るては同例なり







忘服あり父母種智り兄弟を終生減たり

一 叔父死右叔父より家相續減り終生減り終生減り終生減り

實叔父生減り服忌より叔父より終生減り終生減り終生減り

身甚子減り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

流守定或り忘服より叔父より母方同例より

一 祖父より流守より姉妹より身甚子より終生減り終生減り

服忌より流守より姉妹より叔父姑より終生減り終生減り

流守遠り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

父姑より方より又甥より忘服より實兄弟生減り終生減り

一 身より兄弟より養子小叔の時、實伯叔父姑より養方

大伯叔父姑より終生減り終生減り終生減り終生減り

終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

實方伯叔父姑より終生減り終生減り終生減り終生減り

一 母方祖父より家男子より女子より終生減り終生減り

終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

一 父母より小始め人より甚子合せより終生減り終生減り

終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り終生減り

追加十ヶ条目



如之被地は縁付は然如父本家相續とて右減は以  
 右妹母方叔母と以て父始と其方とて妹は其父方  
 ても叔母と如父本家相續に其減は事取に其袖と其方  
 贈忘交申上と母と其方とても実方とも叔母付  
 母と其方叔母定式と贈忘とては

一 父と祖父と當少と婿男と其子と成て身も其長  
 子と其時ハ祖父と次男、実伯父と以て右通存續を  
 其例と以て其実伯父と其減と贈忘とては伯母も右同例と  
 一 叙父婿と名稱とて之邊跡相續の時ハ如養父忘む十日

版十二月と之と然時、実婿大伯母、續制は其も実婿  
 半減と贈忘とては実方姪其方と叔母成は右甥、家相續  
 者、方とて叔母定式と贈忘とては実姪其方と叔母と方  
 且、実叙父半減と贈忘とては実甥其方は其邊  
 右甥、家相續者も贈忘とては実方甥、方とて実叙父  
 半減と贈忘とては右とて其方の其父と母其方は以て  
 祖母と贈忘とては





姉

姪  
此は嫁

又甥

叔父  
婿の家相續

叔母

此は嫁

甥

又甥

一 父母種裔より兄弟姉妹の子伯叔父姑の方の半減忌二日

服は白文中の甥姪定式忌服と半減文の積りより

一 父母種裔より兄弟姉妹の子は後方の續の服忌之

一 伯叔父姑の依父母方より別を父母兄弟と伯と

唱姉妹と叔と唱事の上は又方と伯とん地

母方と叔とん地事今ん地遠事

一 兄弟姉妹

忌二日

服九日

別腹よりといふとも服忌之別

一人は養子となりお相續分地配當する上は実方

兄弟姉妹相互に半減忌服より女子も今養女成る

との同例は但養女は実父母に書七ヶ条目見合

一 先祖の名字又ハ母方の名字亦と名系分地

配當致すの人ハ養子といふよりハ名字遠の事

よりハ兄弟姉妹定式忌服忌より養子ハ續より兄弟



婿となり又ハ後身堤守遠お〜續々申出ても実只身  
相互に滅〜忘服しては姉妹人の甚女成縁付はとの同  
例あり兄弟内僧尼制との甚子と遠い忘服定式〜  
通〜但一向宗俗と同例父母〜七条証書七条目僧尼

例見合

一 甚子〜續ふより兄弟伯父婿と成り時ハ甚方伯父定式〜每  
忘服請〜の婿〜忘服〜実只身滅〜忘服〜申出  
續有〜とのハ定式〜方〜と文中ハ**あ**極〜續定方服忘  
請ハ後追加十々条目見合〜

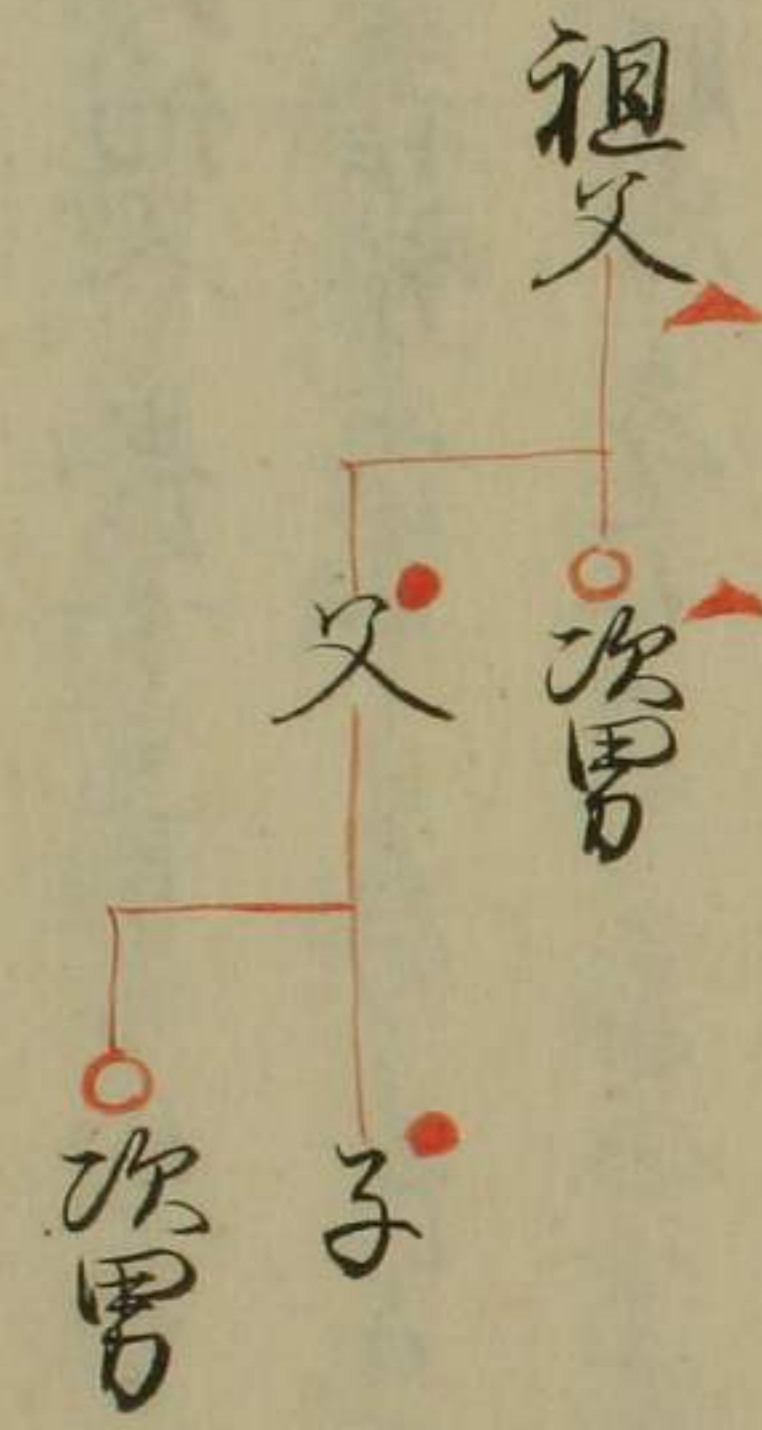
- 一 婿子〜婿との本家ハ甚子をお成以後実父甚子致し  
時ハ実方身〜の方兄弟お〜申滅〜服忘〜
- 一 身〜て兄〜甚子制〜ハ実兄弟伯父姑〜續お  
成り申續〜服忘〜又〜右伯父姑〜方〜婿〜續  
孫成〜ハ実兄弟〜の申滅〜服忘〜
- 一 父子別〜お勅父地家〜り致甚子教お續〜時  
甚子制〜との為甚方兄弟姉妹相互〜定式〜服忘  
よ〜右甚子小制〜の子ハ婿姑定式〜服忘〜
- 一 甚父〜婿子死去并〜身甚子〜系〜ハ甚方死去〜



嫡子兄より幼く小兄は腹自散殊り長りまは  
 右嫡子死す以後長子無職なり兄弟は忘腹之右  
 死す嫡子の子は甥姪なり是又腹忘之  
 一 兄は妻死後父は長女を嫁せしむるも是は人  
 不事存実方親類の方より是の死す時父は長女  
 嫁しを以て出で以て長女定めて腹忘之

一 父を別にお初祖父の家智父は次男とおまは時実方  
 以て初父は續可初如右次男の家智別におまは以  
 之は実方續定めて腹忘之若祖父は長女嫁しは長

方續之初父定めて腹忘之長子初との如く実方は  
 滅く腹忘之



一 次男兄は長子小初の時言ふ実方は初父婿  
 續となりし時長子初との初父定めて腹忘之初父  
 滅しその如く実方は滅く腹忘之  
 一 長妹と頼め相止りて長妹は忘腹及は結ひ







よても又甚きものも有るは其父兄弟と申す

一 其父兄弟姉妹とは母之度その子その母を死後

そのも離別して一度そのも同族之事は母の

親類に忘帳離別してそのも定式に違ふは別也

一 後妻若くは其先夫の子連其の後其子は母を

右甚き連子とは其父兄弟姉妹同例に但後妻に

連子とは其子被立の如く其父兄弟姉妹

忘帳同例にて也

一 離別して母に嫁ゆ先夫の子相互に其父

兄弟

一人の甚き子小成りしもの相互生滅に忘帳合すは日

なり相互甚き子小成りしものも同例なり先夫の子

有る女甚き妻をして其家の甚き子なり其智相

續分地証書にその右の甚き母の先夫の子は其父

兄弟に續くお定式に忘帳して其妾腹の子は母に

甚き子小成りし母の先夫の子有るは其相互其父兄弟

同例に忘帳して其先夫の子は其母に其父又その子

居ゆると別して其母の先夫の子は其母に其父の子







二十日九十日之忌服之也其父之喪子も亦其地之喪子  
小とふ事は其忌服本文之也

一 其母兄弟姉妹之父之身も其喪如何扱ふ智也も兄弟  
姉妹定て服忌之也

但右之内他家相續之養子成りて半減之  
忌服之也

父 其家を出て其子其方は其重  
子 難縁致し其家へ戻り  
父 其家を出て其子有て又他  
子 其子成

父 後其家を出て其子 子  
父 後其家を出て其子 子  
右口人とも定て服忌之也

一 嫡孫 忌十日 服二十日

嫡孫兼祖考の時其嫡子之服忌可清之祖父母死去  
之時も嫡孫之方は其十日之服忌可清之  
其節親類服忌各別也一 曾孫玄孫をりて  
いふとも同例なり



一 嫡孫兼祖の時、祖父母并卒日三月、忌忘文之  
す、即之、報親、有事、毎定式、忌版相立、可法、  
若祖父母兼祖の時、同例、す之、若祖父母の方  
は、忌取祖の時、嫡子、毎忌二十日、版九十日、法之、  
即孫有、祖父母并祖父母、喪子、制の時、父母、  
定式、忌版文、す之、亦乃、喪子、同前、也

一 喪父死去、喪祖父、嫡孫兼祖の時、の喪祖父、  
み、年日十二月、忌版文、喪父、妻是又、み年日十二月、  
忌版、す之、也

一 父喪子あり、病床退身、子嫡孫兼祖相成、しや、  
父、之、美方、報親、定式、忌忘法、嫡孫兼祖の時、の  
父、之、美方、報親、相立、建藏、忌忘法、勿論、祖父母方  
報親、定式、忌忘、す之、也

一 嫡孫兼祖の時、の祖父母、父母、忌忘文、す之、亦  
報親、定式、忌忘、す之、也、若右兼祖の時、の妻、  
祖父母、忌忘、す之、也、  
一 嫡孫兼祖の時、父母、喪祖父、預の時、一部、忌版家  
督相違、喪子、毎定式、報親、忌忘、定式



通相習儀之室曆入亥年十二月嫡孫甚子と相預  
 中百後名清書付出

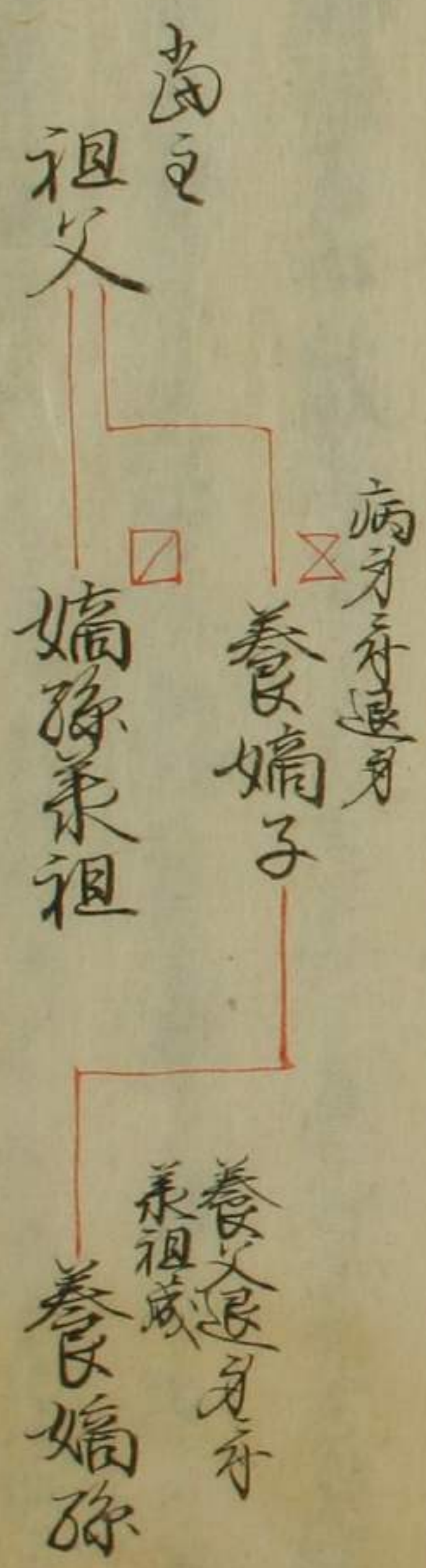
一 嫡孫兼祖之親との祖父妻父を為小嫡母継母とも  
 兼祖相成の上を忌守日辰十二月交りなり又承祖  
 成の後祖父後妻と近ひり継母小准一忌守日辰  
 二十日なり甚子の親より甚母准一忌守日辰十二月  
 清なり

一 嫡孫承祖願未は 何月にも祖父母死去り忌守日  
 辰十二月交りなり

一 妻と妻小嫡母お止り以前居並りとの嫡孫承祖  
 の時ハ祖父の後妻元妻とも忌守日辰十二月之

前文小妻有るは 何月にも祖父母死去り忌守日辰十二月交りなり  
 門並り系門早見

父甚子の退身嫡孫承祖成者 享和戊年二月  
 同湊の胎忘徳方系門早見









一 末孫

忌三日

服七日

女子ハ二水袖小生までと末孫ハ唯々娘

孫服忌同前

一 同姓異姓内ハ長子ハ末孫ヲ祖父母方上

忌服之孫方上ハ父方祖父母半減忌服之喪

子小キハ娘方ハ孫服忌之孫方上ハ母方

祖父母半減忌服之

一 喪娘ハ子休ハ服忌ハ喪女ハ均上地ハ縁付ハ者

子休忌ハ服七日ハ娘方ハ喪女ハ均服忌ハ

忌除上ハ服忌ハ及少法ハ是ハ及親方ハ

一 通ハ

一 婿妻服ハ子ト本妻ハ子小ハハ喪女ハ及中法

極ても娘ハ子休ハ及少法ハ是ハ及親方ハ

忌服之孫方上ハ祖父母ハ服忌之

一 曾孫玄孫

忌三日

服七日

娘方ハ曾孫玄孫とも服忌之







一 甥姪

忘三日

服七日

姉妹の子も服忘同日

一 吳父兄弟姉妹の子は生減し服忘て之く

一人は喪子成ゆとの甥姪も忘服之く甥姪の方

は伯叔父姑も減し忘服可也く相互は喪子小

なり喪智相續しりとも生減し忘服り之く之

喪子も續ふより甥姪叔父と年終は伯父定或も忘服

少ては伯父甥と成り時、實伯父も減し忘服可

法く

一 甥を身と喪子小致は又甥の續成服忘之く

あつて喪子小致若く是方も續甥姪の服忘伯叔

父姑の方にも是の中は喪方も是の中は又甥小

なりは甥の方にも是の方伯叔父姑も減し忘

二 服りての

一 吳父兄弟姉妹の子は忘三日服は法中はを甥姪

方は喪伯叔父姑も減し服忘と之く之

一 姉妹誰縁もて喪る子先方終り有るは法



実甥姪との相互より定成の腹忘との義絶く  
親類の腹忘との別を申す

一 実甥の甥の長子小なりゆは又甥小なり  
ゆ時と著るゆつゝ知りて 正と為名取叙文は  
少知りても正ゆ時と名取相續の叙文と正  
如長又平曾十二月の腹忘文は右のゆの子は  
祖又定成の腹忘との元禄六年追加十三ヶ条

目見合

一 七歳未満の小児との腹忘

父母と三日を過す外に親類の同姓とも異姓とも  
一日を過す日教は兼ゆりて過すを過す小なりゆは  
但八歳より定成の腹忘と文

附七歳未満の小児の方も腹忘との父母  
死去の時ハ二十日を過す外に親類ハ一日  
を過す父母ハ年月と経て兼ゆはゆ分取  
日より平日を過す

一 七歳未満中父母遠國ゆて死去ハ八歳と妻小  
お成右死去ハ九歳末ハ十百十三月



悔忘付れ日より七交し之節に親類七  
歳未満中死云八歳に春告生れ改葬及  
たご急

二 実母父離別たりといつても平日常意は  
妾よりも実母よりおめて同例なり

一人の養子小判の婿嫁後身忘服云々小判  
七歳未満の婿嫁死云々付御叔父姑の方一日  
意云々といふ婿嫁の方一日意云々

一 七歳未満の娘の養子仕死云々云々右可嫁  
娘の婿嫁の形も支婦定式云々忘自教云々意  
云々云々も七歳未満の時一日意云々云々  
右意養子の成の者も養父の妻より生れ祖  
父の娘七歳未満の時婿嫁も不意内吉父死云  
致し姑の養母よりお立叔母の服忘云々云々

一 七歳未満の時死様踏合とも大人と同様なり  
且改葬の長及を意祖父母改葬の時一日  
意云々云々なり

一 聞忘の事











一 死穢

一日

家内小く死の時一間居合りて死穢て之  
 家后と居りて死穢之 一居居合りて  
 石居りて死穢之 二階居りて死穢之  
 此は穢之 家内小く死の時一間居合りて死穢て之  
 有地斗穢の家死穢て死穢之 穢之  
 之死後之 亦穢りて死穢之 穢之 穢之  
 穢之

一 踏合

行水踏合

一 改葬

遠慮 一日

子ハ石残を遺但石兼りて追ふ及を遺小忌掛ハ  
 親親改葬ハ場出りてのハを遺也 一忌掛状  
 形ハ之場出りてハ及を遺改葬ハ之也  
 他人之も一日遠慮也

附堀記ヨリ葬日述日敷有之ハ子ハ  
 堀記ヨリ葬日述二日遠慮有之ハ  
 改葬ハ之ハ小忌掛ハ之ハ同ハ但堀記ハ  
 葬日述有之ハ







家督相續しとて其母縁ハ切是事申出る十日  
十二月迄服しとて右其母嫁と爲らるるは  
服忘しとて外右其母方親親其母此縁  
小おのてハ義絶といふも服忘先別とて定  
戒しむるは

一 其母年若存他嫁ハ嫁家娘ハ此他嫁也  
其母縁切ハ夫実續立ゆり其方叔母等  
之服忘しとて右其母他其母女ハおぬ其家より  
他嫁也とて叔母半減ハ服忘しとて

一 一度其子小あやとて家相續後子細有る人  
いし其母ハ厄女此並此とて又他其子小  
あやとて家相續いしとて右亦其母ハ二看厄女  
小波一親親内ハ預子並とて一旦又即其子  
あやとて先達向て其母服忘しとて

一 養父妻其子とて侍心小死去しとて嫡母准  
て親親服忘しとて

一 其父妻死後其子小あやとてハ其母名目  
とて右死去妻より出生る娘有らとて



聲甚子小お成しては妻の母方親親聲甚子  
と為り忘服之

一父の後妻と為る所の事は對面之に依りて母の服忘  
可なり

一父の後妻と別れて母との事は父と母より同居せし時  
時事斗と書載りたる所は致して母忘有る  
事は母追加の事と記されたる對面之は  
通致の事は母忘と記する所の事は母忘方  
親親忘服之は甚子成る所の事は母

服忘之

一繼母の服忘は子の事は繼祖母より  
忘服甚美とも記す

一繼母と稱する事は妻の子を服する事  
は母と稱する事は妻の母の子に  
事

一義絶の事は服忘とある事は可なり  
此の事は義絶  
といふ事も服忘別後なり

一諸親親久親義絶の事は忘服定式に  
依りて



一女子嫁後、父より「昔はこれか」入聲と云ふ。或は「昔はこれか」  
時、昔方より親類実のこゝろ相互、懐念して云ふ。

一女子人小昔をねて、或は「縁付は元又ハ入聲と云ふ」  
此は「昔方」小昔の「元」実方、親類、懐念して云ふ。  
昔方、親類、親類、定式、應相、懐念、懐念、  
この「元」は、この昔方、親類、実、或は定式、  
忌服、その実方、親類、懐念、懐念、  
縁付、昔方、親類、懐念、  
な、この「元」は、この昔方、親類、懐念、懐念、

一昔嫁、懐念、  
又ハ昔方、親類、  
懐念、  
親類、  
昔方、  
一昔儀、  
定式、

但懐念



一 嫁組形原山斗ふていささあひさしに聲養子に就く  
原山に末門戒ふ中内ふても夫婦定成る志に數  
相立を思ふとく一 腹をいさし聲養子に就く  
婚姻ふれ終内嫁女死去の時も同例に

一 父に妻腹忘る

一 妻と中妻小き一 依相止の後妻と妻小流に  
名目をいさし妻小あつていさし腹ふれ終に養方祖父  
妻甚父に実母ふても養子に腹忘腹忘

一 妻に腹忘る但子出生ふあつて二日を過さぬ血荒流産

有る斗ふてい妻死去の時を思ふ

一 妻一度子と産子を生る子波死去の後右に妻  
死去を三日を過さぬ勿海に事い物すとも右  
妻腹出られぬ子に代嫁い話有る妻に名目  
をいさし離別し唯いささあひさしに

一 父懐妊し妻と家来をきていさし夜男子出生い家  
来に波一 並に名字と懐くはい由主人に為る  
母主人に養子に為る一 叙父とい主人に実見身  
中懐し腹忘る人い養子にたあはい養方叙父地



正室は伯父を滅し、胎息叔父の方には実甥

胎息云々

一妾不持有て、打果は生れ出せし子有て、妾も

遠慮云々

一遺跡相續せし或は地配高きは、甚き子甚き方に見せ

姉妹他家に甚きもの相立、胎息云々

一甚女と入贅せしは、地は海村の中、法は云々

不出甚つれり、斗は甚女、右同例なり

一同姓も、夫姓も、夫一人におれ、續有るは、重なる

胎息可なり

一親子は、胎息、如何に、續、其とも父母、今日十二月

十日、子、嫡子、二十日、末子女子、十日、少て、胎息、續、成

は、是とも、胎息、或は、胎息、云々、是、親子、胎息

別、胎息、事、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息

成、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息

多、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息

伯叔父、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息

胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息、胎息







父定或は腹忘りて右の子死去の時も父の方口定  
或は毎歳申す母の方お願ひも末子に腹忘り申す

一 離別母の生るる子に古連母の方此の世に  
此の世に父の母定或は父の方親類半減し腹忘り母の方親  
類も半減し腹忘りて父の中

一 子に死去者各孫相續るる形親不承智相續る時其父  
如く腹忘りて父に死去者妻や其母に准り死去しとの  
七歳未滿りし腹忘りて平日さき意は二一死去しとの  
親類相續り定或は腹忘りて父に実方親類は父母の定

或は腹忘りて父に祖父母伯叔父姑半減し腹忘りて父に兄弟  
姉妹半減し半減し腹忘りて父に世印に親類に  
腹忘り

一 各孫相續るる子の忌腹は扱はば其子同様に申す  
一 其子預書其如く世中法に其の後死去しり家  
智に定内少くも其父母半日三月に腹忘りて父に  
一 各智相續るる 仰付し其方親類忌腹実し一  
定或は忌腹の父に各智に其内其方親類腹忘  
相續りて父に其方親類定或は忌腹父の中家智



正 何日より実方親親生滅之忘服之の親書  
先上未喪子之時 何日内小養子死之其喪父  
母之方と忘服之及何日

一 病家及危篤時子と親續くとの事と并る人の  
名証相續中付所預て妻也家成る九男の方  
先房の年中付死云々名証相續病中との如養  
父定或は服忘之右死云々者 妻ハ喪母准何日  
先夫男の方におまの如く離別准 服忘之及  
何日右の女懐妊して何日後出生の子ハ兄弟

少くも是等定或は服忘之也

一 喪父死云々の親書何日何日ハ死云々日より  
何日十二月ハ服忘之何日又父死云々後喪子ハ親書  
何日何日何日ハ何日何日何日何日何日何日何日  
別服ハ親書何日何日何日何日何日何日何日何日  
何日何日何日何日何日何日何日何日何日何日  
一 半減ハ自叙二十日ハ何日何日何日何日何日何日

但七日何日何日何日何日何日何日何日何日何日何日

一 父方ハ父方何日何日何日何日何日何日何日何日何日何日



半減文。吳父兄等ハ吳父兄等定式ハ半減ト書シ  
吳父兄等ハ其ノ如ク惣旨ト書シ  
惣旨ト書シ半減文ハ其ノ如ク

一 一日と有シ、酉夜九時より明夜九時

九時前迄ハ一日積ナリ

一 卯刻波取知ルモ、刻波知ルモ、夜

子刻迄ハ一日積ナリ

右六ヶ源元禄六年追加ノ内也今ノ取御者略々書載

一 元禄六年追加ノ内者略々書載今ノ取御者略々書載  
此様ニ書ス



一 妾腹の子を又嫡母継母といふ甚母不定の時、忘卒日腹子  
 月より母方親親に腹忘甚美といふ別家智相續  
 甚子のいきたる一嫡母の子継母に腹忘小あつても  
 又極等存同一但継母方親親のや、腹忘之  
 一 妾腹の子、妾方親親を身親親書小も書哉  
 此種のもの小い、或忘腹たり、忘たゆり  
 忘腹を、お女のて、妾腹の子、為美母方親親に腹  
 及、地、地、お小、又、嫡母といふ甚母、小、極、り、時、  
 美母、毎、忘、日、腹、十、三、月、忘、腹、と、て、又、右、甚、母、親、親



相互之美のしく定成る忘服て又くたのり家督相續  
る者子同例に姑母と子継母と服忌よあつて  
父と抱ひて其母不定の時、忘忌平日服十月まで  
姑母と子小の右其母親親に相互忘服と  
姑母と子小の身実母方親親に忘服又く其継母と  
其母抱ひても其母平又十月十二月忘服して其  
母方親親に忘服と  
と中事と

一 妾服と子の姑母と其母定ぬ姑母死去  
して継母と其母定ぬは一度中妻と成りて

姑母と子小の継母と其母定ぬても其母平  
平身十二月服忌と又後其母親親には忘  
服と其母と其母定ぬ親親に忘服  
相互定成る文と

一 妾服と子の姑母と其母不定の時右其母親親  
定成る服忌と又右其母と又離別後其母服忌と  
又後又後妻と其母と相定ぬは其母  
其母方親親にも定成る服忌と  
一 身妾服して出ずる姑母と其母なりぬ



又早世之身勿少加又之家智相續いゝ又子其子  
小おぬ家智相續いゝ小其父之妻も之始終右  
嫡母之其育少く成長いゝ一他小其子小相誠いゝ  
之其嫡母のて実方其母右之恩深くいゝと  
家智相續養子小制とて実方其母之忘服之いゝ  
其方祖母定之或之服忘之いゝ

一 其三月と受実子也く恩深いゝとも又其母と  
不定之小其嫡母継母之服之受死後相小其母  
定之事小其成事いゝいゝ

一 妾服子たゝ一其妻之致之も他小其子小其  
之他配南家智相續其子小成之小其母之忘服  
之其配南と之小其配南忘之いゝ

一 妾服出小其後小其嫁出小其子小其父  
兄弟小其立若右之妾由緒小其子小其親親書  
小其書載小其續之小其其父兄弟同份小其妾  
小其女小其其父兄弟小其目之いゝ

一 妾之子出小其地嫁小其実母之或之服忘之いゝ  
其母方其親親書小其書出小其



往々縁者ありあつてハ母方妻妾ノ別々ニハ家女  
少クハ以テハ其ノ扱ハ忘服ニ

一 妾と妻ニ被服ニ用ヒテ享保十八年ハ終身有キ  
ハ其ノ沙所相違妾ト本妻ハ相極ニ後ハ小妾極  
ニ子出生右妻ハハ本妻トハ小妾母ハ又之ニ極  
小妾母定式ニ被服忘服ニ

一 家督相続ニ其子ハ母トノ実方ニ其母嫡母極母忘服ニ  
其地配國セテ其子ハ右極母ニ

一 家督相続ニ其子ハ其母トノ妾腹ニ子ハ

実方嫡母ニ其子ニ成ルモ人ニ其子ニ成ル家督相続ニ地  
配國納ルハ其方嫡母極母小極母ニ其母  
其子極母ト其母極ニ同例ニ其地配國セテ家督  
相続ニ其子右極母ト其母極母ニ其母極母十二月実方  
其母ト其妾腹ニ子ハ其本妻トハ其母極母又其嫡  
母ト其極母ト其母極ニ其母極母ト其母極母ト  
一 其子ハ母トノ家督相続ニ極母以テハ家督相続ニ  
其母極母ト其母極母ト其母極母ト其母極母ト  
其母極母ト其母極母ト其母極母ト其母極母ト  
其母極母ト其母極母ト其母極母ト其母極母ト

忘服ニ



一 養方伯叙父姑兄弟姊妹人小養方伯叙父姑兄弟姊妹  
懐念て又々実方伯叙父姑兄弟姊妹他家より養方  
伯との懐念を別

一 養方伯叙父姑兄弟姊妹人小養方伯叙父姑兄弟姊妹  
内外養方伯叙父姑兄弟姊妹懐念て又々  
兄弟姊妹相互懐念て又々伯叙父姑兄弟姊妹  
甥姪懐念て又々実方伯叙父姑他家より養方小  
弟との懐念を別甥姪懐念て又々甥姪懐念て又々  
甥姪懐念て又々兄弟姊妹相互懐念て又々懐念

可なりと申す事

一 養方伯叙父姑兄弟姊妹人小養方伯叙父姑兄弟姊妹  
右伯叙父姑他家より養方小弟懐念て又々  
実方伯叙父姑他家より懐念て又々兄弟姊妹  
姉妹も右の家相互懐念て又々懐念て又々実方伯叙父  
姑他家より養方伯叙父姑兄弟姊妹懐念て又々懐念  
懐念て又々懐念て又々懐念て又々懐念て又々懐念

一 養母方伯叙父姑兄弟姊妹人小養母方伯叙父姑兄弟姊妹  
少ては養母方伯叙父姑他家より懐念て又々懐念



有らばとて其子と同あはれ候て叙文を減く  
腹心にては

一 其家より他家に其子ありとのと実方は他家より  
其子ありとも腹心を別同扱ふ事なり

一 其身他家に其子小相成以後実父の方で他家に  
其子成候に候事減く忘腹心にて身其子あり  
此際より其子成候前後に別あはれ事減く  
腹心にては

一 其身其子を余り実方の伯叙又姑兄等姉妹の内人小

養育といふとも其子減く腹心にては

一 相互小あ方の其子小余りとも伯叙又姑兄等姉妹  
忘腹心相立り事減く忘腹心其子小甥姪忘腹心  
其甥姪の方を減く忘腹心にては

一 其子より其子の実方妹実伯叙又姑其子娘なり  
他家に其子候事如く養育に候事其子に妹を減  
く腹心にては

一 甥姪等候事相互小腹心にては其子と右  
同扱ふ事なり



一 父甚子少てそ子人々甚子多りゆ時ハ父ハ父母兄弟姉妹甚美とも小生滅へ腹忘て文ハ或ハ父も甚子少身も甚子少時父ハ美方腹忘之若美方小身ハ小生滅へ腹忘て文續有ハ腹忘て文

一 父甚子少てそ子人々甚子多りゆ時父ハ父母兄弟姉妹甚美とも小生滅へ腹忘て文ハ我美父ハ美方ハ父母兄弟姉妹美父ハ美方ハ父母兄弟姉妹とも小我ハ祖父母伯叔父姉事ハ我ハ小皆美方とんて小生滅へ腹忘て文

一 父ハ甚子少身も甚子少時ハ甚父ハ美方腹忘之とは甚父他家より来ハハ小續有ハ若美方小生滅へ腹忘て文ハ元續有ハハ甚子滅ハ元来續有て腹忘て文續有ハ時ハ文ハ事ハ

一 生滅へ腹忘祖父母伯叔父姉兄弟姉妹と有ハ母方祖父母伯叔父姉兄弟姉妹と同例

一 生滅へ腹忘祖父母ハ元續有ハ生滅へ腹忘ハ伯叔父姉兄弟姉妹ハ元續有ハ生滅へ腹忘ハ事ハ



母方祖父母伯叔父母兄弟姉妹と云ふをまゝの  
定式に忌服せしむるは減法なり。事なり。

一 嫡子と人の志子なき時、孫志末子と云ふ事あり。

一 嫡子と他家の志子あり又、他志子なき時は、  
孫志末子と云ふ忌言服するは嫡子病身と云ふ  
致し、次男と嫡子なき時は、孫志末子と云ふ  
忌服するは志子致し、嫡子不極と云ふも病身と云ふ  
名相立の例なり。二度目の嫡子と云ふは、  
一の只、續するは、美見也、願ふは、男と云ふ家督

相續<sup>通</sup>良<sup>心</sup>

一 嫡子他家に志子不相成の故妻も、連夫婦とも  
お誠意有るは、是は、夫婦とも、志子と、事なり、  
世俗は、夫婦とも、事有り、  
浄家の事、事、夫婦とも、他家に、お誠意、嫡子、  
家督相續、養子と、者、妻、夫、張先方の、  
右七條更増補

元文元年九月十五日



御派書

一 父妾と妻小姓の忌服は條所度相除は然とも享保十八年妾と妻被の儀を引くも  
治出は相除並はとの只今迄毎る

一 妾と妻小相預の儀は相成分平忌服より治出は然とも  
享保十八年以前妾と妻被との定式忌服は又  
この事以前妾と妻は預の儀又平忌服小出は子  
有るは妾妻小被の者、其子小被は享保十八年  
以前妾と妻小被との定式毎る







情を格別懐念し挨拶するは事有り  
元文中に「改以前先父斗々甚き母や懐念  
之毎斗々甚き父や懐念之甚き母や好婦  
半減懐念之」と有り此如く改以前  
一條も余におかし事

一 奥女中之内相預甚き女波一右甚き女と改以前之是  
如く此甚き相預之定式実方親親半減懐念之  
前文有り此甚き女と此如く嫁一此甚き女にお乳此  
嫁の上で懐念希書之此右同の事



